

広島市

危機管理室、健康福祉局、道路交通局、下水道局、中区、東区、南区、西区、安佐南区、安佐北区、安芸区、佐伯区、消防局、教育委員会

安芸太田町

総務課、建設課、住民生活課、福祉課、加計支所、筒賀支所、消防団

広島県

土木建築局、危機管理課

国土交通省

太田川河川事務所、広島西部山系砂防事務所、温井ダム管理所、広島国道事務所

警察

広島県警察本部、山県警察署

みずぼうさい

太田川水防災 タイムライン 【広島市版】 (令和3年度版)

気象庁

広島地方気象台

自衛隊

陸上自衛隊第13旅団

報道機関

NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ放送、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、中国コミュニケーションネットワーク、NPO法人気象キャスターネットワーク

地下施設管理者

広島地下街開発、広島駅南口開発

交通機関

JR西日本、広島電鉄、広島高速交通、NEXCO西日本、広島高速道路公社、広島県バス協会、石見交通

ライフライン機関

中国電力、NTT西日本、広島ガス

支援組織

広島県医師会、中国経済連合会、広島市防災士ネットワーク、防災エキスパート

令和3年6月

太田川水系大規模氾濫時の減災対策協議会
太田川水防災タイムライン検討会

目 次

1.	<small>みずぼうさい</small> 太田川水防災タイムラインとは	P 1
1-1	太田川水防災タイムラインの概要	P 1
1-2	太田川水防災タイムラインの運用【広島市版】.	P 1
1-3	太田川水防災タイムラインにおけるステージ設定の考え方	P 2
1-4	太田川水防災タイムラインステージ移行の考え方	P 3
2.	太田川水防災タイムライン【広島市版】（令和3年度版）.	P 4

1 みずぼうさい 太田川水防災タイムラインとは

1-1 みずぼうさい 太田川水防災タイムラインの概要

太田川水防災タイムラインは、太田川流域の住民の命を守り、さらに社会経済被害を最小化することを目的に、時間軸に沿って太田川流域の防災機関等(35機関)が災害に対する役割や対応行動を広島市及び安芸太田町毎に防災行動計画として取りまとめたものであり、災害対応を迅速に進めるための手段の一つである。

本タイムラインは、各機関の行動項目のチェックリストとして活用し、多機関が連携している項目が共有できる。

また、本タイムラインは令和元年度から適用し、毎年、出水後に運用実績に基づき振り返り、課題等あれば改善し必要に応じて改定することとする。

1-2 太田川水防災タイムラインの運用【広島市版】

太田川水防災タイムライン【広島市版】(令和3年度版)の運用については以下を基本とする。

対象事象: 洪水、内水、高潮、土砂災害

運用機関: 広島市、警察、自衛隊、地下施設管理者、ライフライン機関、支援組織、交通機関、報道機関、広島県、気象庁及び国土交通省の32機関

運用期間: 立ち上げ(太田川流域が台風の3日予報円に入る)から広島市が解除を判断するまで

その他: 平成28年9月に策定し、現在運用している太田川国管理区間における避難勧告着目型タイムライン^{※1}は多機関連携型タイムライン^{※2}である太田川水防災タイムラインへ移行

※1: 避難勧告着目型タイムラインとは、市町村長による避難勧告等の発令に着目して、河川管理者と市町村等が協力して策定・運用するタイムライン

※2: 多機関連携型タイムラインとは、地下街の浸水対策や高齢者の円滑な避難など、河川の特徴に応じた多様な防災行動を対象として、多くの関係機関が連携して策定・運用するタイムラインであり、今後、避難勧告着目型タイムラインから多機関連携型タイムラインへ順次移行する予定

1-3 太田川水防災タイムラインにおけるステージ設定の考え方

タイムラインでは、実際に進行する時間軸の代わりに、気象状況や河川の水位上昇、氾濫状況等の発表情報によって進展するステージを設定している。ステージが進展する際の基準をトリガーと呼んでおり、ハザード毎の各ステージに対応する主なトリガーは下表に示す。

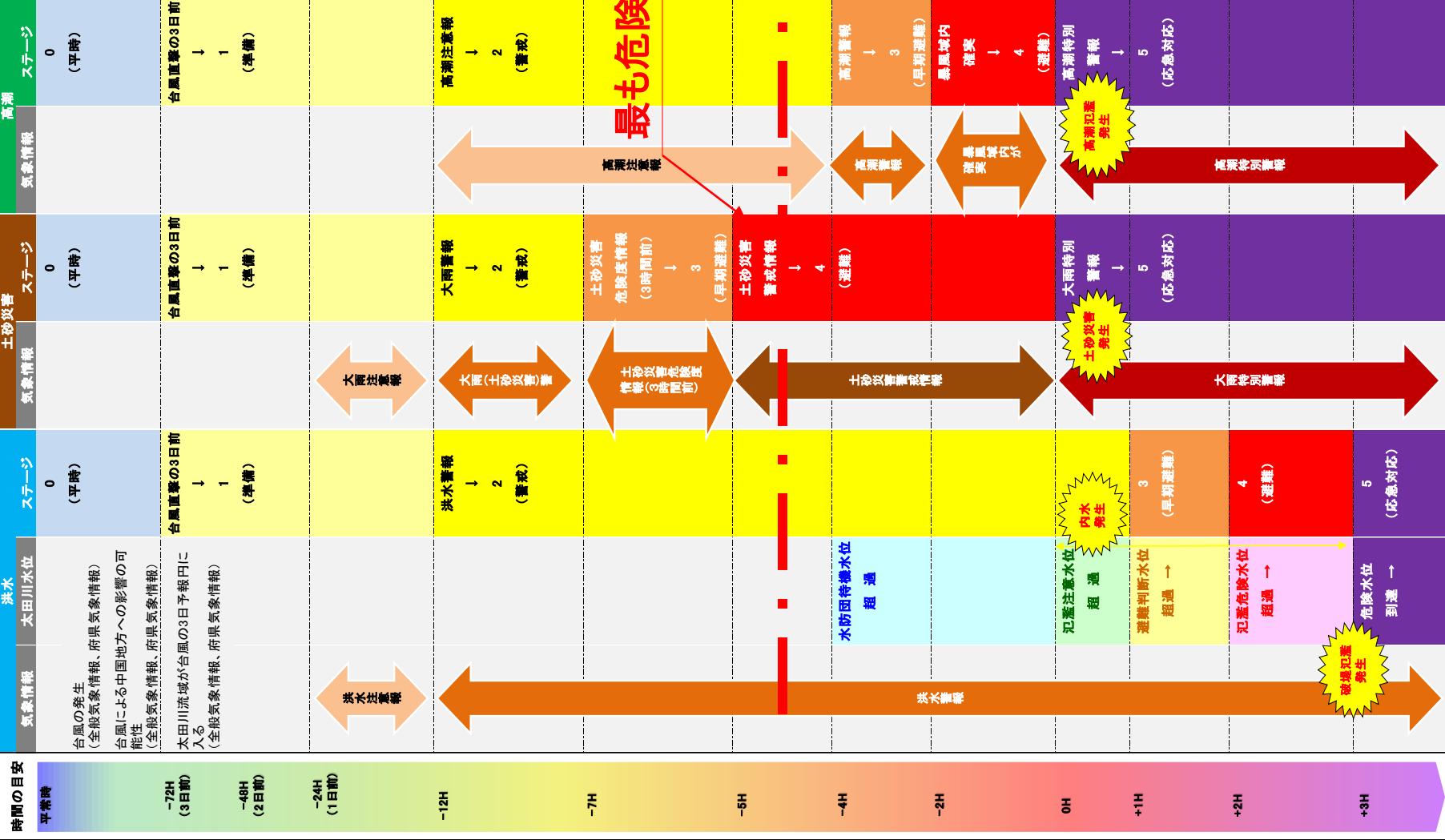
ハザード毎の各ステージにトリガーが複数ある場合は、いずれかのトリガーが発表された時点で該当ステージとなる。

◎ステージと主なトリガー

ステージ (目標)	避難情報の発令	トリガー		
		洪水・内水	高潮	土砂災害
ステージ0 (平時)				
ステージ1 (準備)		○太田川流域が台風 の3日予報円に 入る	○太田川流域 が台風の 3日予報円 に入る	○太田川流域が台風 の3日予報円に 入る
ステージ2 (警戒)		○洪水警報の発表	○高潮注意報 の発表	○大雨警報（土砂災 害）の発表
ステージ3 (早期避難)	○高齢者等避難の発令	○避難判断水位到達	○高潮警報の 発表 ○予測潮位 TP2.9m未満	○土砂災害危険度情 報（3時間前）の 発表
ステージ4 (避難)	○避難指示の発令	○氾濫危険水位到達 ○温井ダム異常洪水 時防災操作移行 3時間前通知	○高潮警報の 発表 ○予測潮位 TP2.9m以上	○土砂災害警戒情報 の発表
ステージ5 (応急対応)	○緊急安全確保の発令	○危険水位到達 ○氾濫発生 ○温井ダム異常洪水 時防災操作移行 1時間前通知	○高潮特別警 報の発表 ○高潮氾濫発 生	○大雨特別警報の発 表 ○土砂災害発生

1-4 太田川水防災タイムラインステージ移行の考え方

タイムラインの立ち上げ（ステージ1）から時間軸に沿ってステージ2からステージ5までの5段階を設定



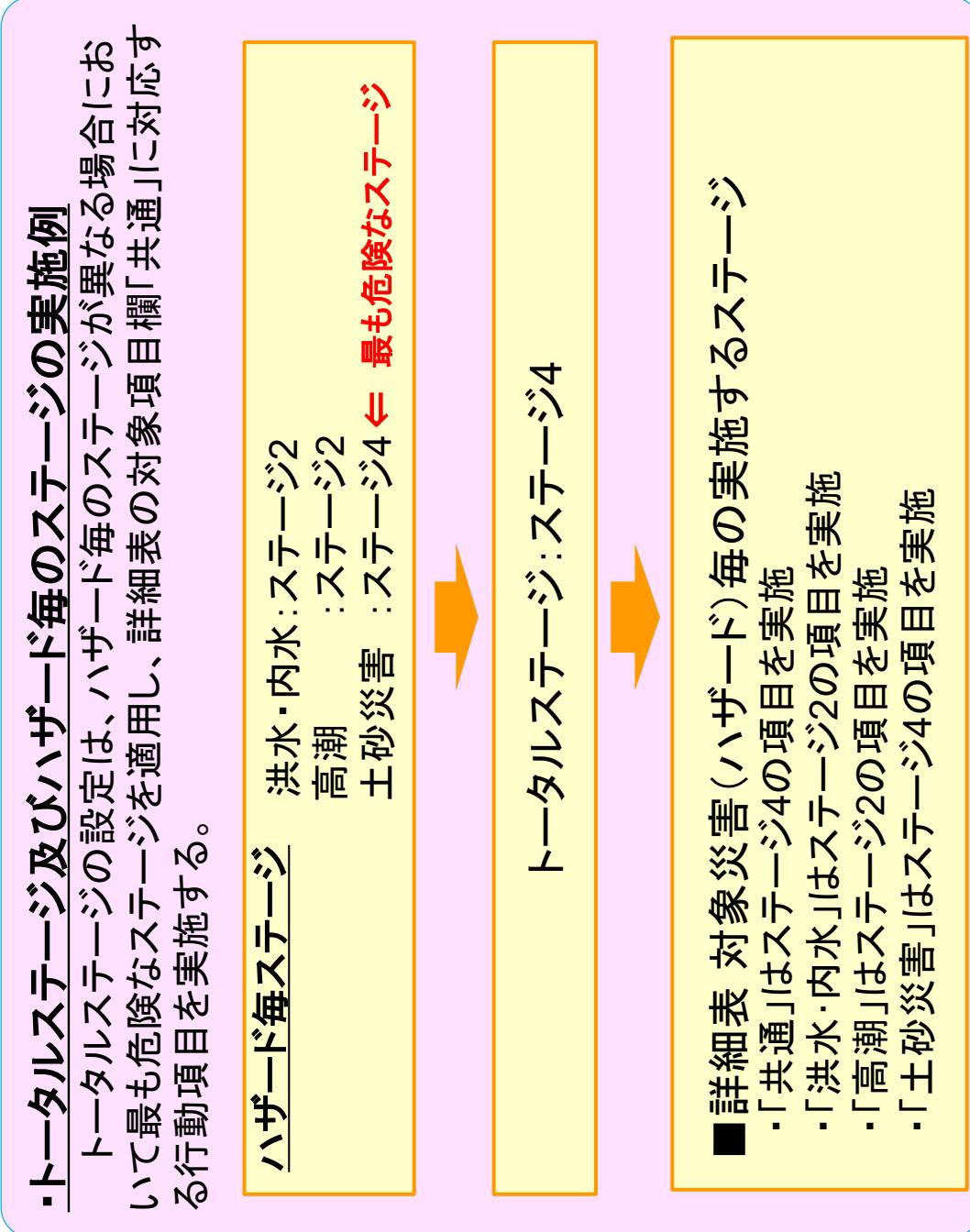
タイムラインの立ち上げ及びステージの変更(引き上げ)は、ハザード毎の意志決定機関 ※ (広島市、広島県、広島地方気象台、太田川河川事務所) で判断し、関係機関に伝達する。

※ハザード毎の意志決定機関

洪水・内水: 洪水予報等 (広島市、広島地方気象台、太田川河川事務所)

高潮: 高潮注意報等 (広島市、広島地方気象台)

土砂災害: 大雨警報、土砂災害警戒情報等 (広島市、広島地方気象台、広島県)



2. 太田川水防災タイムライン【広島市版】 (令和3年度版)

太田川水防災タイムライン【広島市版】(令和3年度版)の見方

ステージ毎の「目標」、「時間の目安」、「情報・状況」を整理

ステージ3(早期避難)【10時間~8時間】：タイムラインのステージ2から移行

洪水・内水：避難判断水位到達

高潮：高潮警報の発表(予測潮位TP2.9m未満)

土砂災害：土砂災害危険度情報(3時間前)の発表

ハザード毎

No	防災機能	行動項目	担当機関
87	情報	防災情報	広島県 気象予警報の発表・伝達【継続】
88			広島県 気象情報の発表・伝達【継続】
89			広島県 洪水予報(氾濫警戒情報)発表・伝達
90			広島県 ダム放流状況の伝達
91	指揮	体制の確立	広島県 警戒本部の設置
92			広島県 職員(警備)の集集(気)
93			広島県 警戒(警備)の集集(気)
94	住民対応	関係機関との連携	広島県 ホットライン(太田川→区長)
95			広島県 避難所の開設
96			広島県 高齢者等避難の発令・伝達
97			広島県 高齢者等避難の広報
98	要配慮者対応	福祉避難所開設	広島県 福祉避難所の開設
99	緊急対応	体制の確立	広島県 高齢者等避難の伝達
100	公共交通・道路	運行停止・通行止め	広島県 徐行運転・運休・通行止めの実施
101			広島県 運行停止・通行止めの情報提供
102	報道	情報収集	土砂災害危険度情報収集
103			河川水位情報収集
104			避難情報の発信【継続】
105	地下施設	施設閉鎖	従業員の帰宅手段の確保
106			避難誘導
107	支援組織	医療機関	リエゾンの派遣

対応するハザードを明示

対象災害	対象ハザード
共通	洪水、内水、土砂災害
洪水	洪水
洪・内	洪水、内水
洪・高	洪水、高潮
高潮	高潮
土砂	土砂災害

広島県	広島市	各区	地区	健康	教育	消防	警察	自衛	その他
土木建築局河川課	下水道局河川課	健康福祉局	教育委員会	消防局	警察本部	自衛隊	中国電力	広島地下街開発	広島駅南口開発
土木建築局砂防課	土木建築局河川課	土木建築局	土木建築局						
土木建築局河川課	土木建築局河川課	土木建築局	土木建築局						

担当機関を明示

担当機関の行動項目は
◎:行動の主体 ○:行動の支援
発:情報の発信者 受:情報の受け手

行動項目は階層別に記載

- 各機関の行動項目のチェックリストとして活用し、各機関が連携している行動項目を共有する。
- ※各機関における行動項目の具体的な内容については、各機関の各種マニュアル等に基づき対応する。

